



Web サイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

研究要旨

Web サイト www.haart-support.jp では、研究成果をはじめ患者向け情報から医療関係者向け情報まで多様なコンテンツを掲載している。

各コンテンツページにはアクセス解析ツール（Google アナリティクス /Google Tag Manager）を導入し、アクセス数の集計や推移を分析している。また Web サイト全体に対するアンケートや、個別ページからその内容の有用性についてユーザーが評価できるシステムを導入している。（以下、ページアンケート）

本報告書では平成 29 年度に新たに追加したコンテンツの報告と、Web サイト全体のアクセス解析を行い、その閲覧状況を報告する。

研究目的

現在、医療機関や NGO、他の研究班などが多数の Web サイトを運営し、情報発信を行っている。当サイトはそれに先駆けて 2004 年に開設し、患者さん向けから医療関係者向けまで幅広い情報を発信すると共に、新たな研究や成果を追加するなどアップデートを重ねている。この研究ではアクセス状況を定期的に把握するとともに、効果的な情報発信の手法を構築することを目的とする。

か？」との質問に対して評価項目を選択し、送信できるプログラムを設置している。（図 1）

図 1 ページアンケート

研究方法

(1) 情報発信

分担研究者の研究内容や研究成果を随時ホームページ上に公開する。

(2) アクセスログの解析

Google アナリティクスを採用し、各ページにはアクセス解析のためのトラッキングコード（追跡コード）を埋め込み、訪問数やページビュー数などを解析できるようにしている。また今年度から Google Tag Manager を一部に導入した。これにより、さらに効率的で柔軟な測定が可能になる。

(3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部に「このページは役に立ちました

送信ページも記録しているため、ページごとに評価の分析が可能である。

(4) Web サイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケートの投稿ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

1. このホームページをどこでお知りになりましたか？

【選択項目】 検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他

2. お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？

【選択項目】薬カード／Q & A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書

3. このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。

4. このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。

5. 抗 HIV 薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。

6. 年齢

7. 性別

8. あなたの立場について教えてください。

【選択項目】患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

研究結果

(1) コンテンツの更新

1. 平成 29 年 3 月 30 日：抗 HIV 治療ガイドライン（研究分担者：鯉渕智彦）2017 年 3 月版 PDF を掲載。
2. 平成 29 年 4 月 11 日：トップページをリニューアル。以下の新規ページを作成。
 - 2.1. 福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策（研究分担者：山内哲也）
 - 2.2. HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究（研究分担者：日ノ下文彦）
 - 2.3. エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：下司有加）
 - 2.4. 精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究（研究分担者：角谷慶子）
3. 平成 29 年 4 月 28 日：介護保険施設の HIV ケアと学校基盤の HIV 予防における拡大戦略の研究（研究分担者：佐保美奈子）を更新。
4. 平成 29 年 6 月 30 日：HIV 陽性の心理的支援の重要性に関する検討（研究分担者：大山泰宏）のページを作成。
5. 平成 29 年 7 月から随時：おくすりガイドにデシコビ配合錠 LT/HT(DVY)、コムプレラ配合錠 (CMP)、テビケイ錠 (DTG)、ゲンボイヤ錠 (GEN)、スタリビルド配合錠 (STB)、トリーメク配合錠 (TRI)、プレジコビックス配合錠 (PCX)、ノービア

内用液 (RTV) を新たに追加。

6. 平成 29 年 7 月 13 日：エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：下司有加）に研修会「訪問看護師研究会～HIV 陽性者の在宅支援を考える～」(9 月 2 日開催) を掲載。
7. 平成 29 年 8 月 24 日：「その他資料・冊子のダウンロード」に「平成 28 年度研究報告書」と「精神医療従事者のための HIV/AIDS ハンドブック」（研究分担者：角谷慶子）を掲載。
精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究（研究分担者：角谷慶子）に「精神医療従事者のための HIV/AIDS 研修会」(12 月 16 日開催) を掲載。
エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：下司有加）に「HIV 感染症訪問看護師研修会～ HIV 陽性者の在宅支援を考える～」(10 月 28 日開催) を掲載。
8. 平成 29 年 9 月 27 日：HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究（研究分担者：日ノ下文彦）に講演情報（医療関係者向け）を掲載。
9. 平成 29 年 10 月 2 日：冊子「抗 HIV 薬 Q&A Ver.10.0」PDF を掲載。
10. 平成 29 年 10 月 3 日：抗 HIV 薬全般に関する Q&A を第 10 版に更新。
11. 平成 29 年 10 月 4 日：HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究に当研究班共催講演会のお知らせを掲載。
12. 平成 29 年 10 月 6 日：推奨処方のエビデンスとなる臨床試験に GS104, GS111 試験, NCT01440569 試験を追加。
「福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策」に研修会情報を掲載。
13. 平成 29 年 12 月 8 日：HIV 検査.jp のバナーを設置。

(2) アクセス解析

平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までを集計した。また参考として前年の平成 28 年の集計も併記した。

① セッション（訪問数）

セッション（訪問数）とは、ユーザーが当サイトに訪れてから他のサイトに移動する（またはブラウザを閉じる）までの一連の行動のことである。他のサイトに移動（またはブラウザを閉じる）して 30 分

を経過すると、同じユーザーでも新たなセッションとしてカウントされる。平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までのセッション数は 99,570 であった。前年の平成 28 年は 108,836 であった。（表 1）

表 1 1 ヶ月ごとのセッション数

月	H29	H28
1 月	9,145	9,872
2 月	8,713	9,370
3 月	6,710	7,048
4 月	8,770	9,045
5 月	9,720	9,331
6 月	9,404	9,804
7 月	10,185	11,348
8 月	7,818	8,279
9 月	7,389	8,936
10 月	7,886	8,848
11 月	8,340	8,735
12 月	5,490	8,220
合計	99,570	108,836

② ページビュー数

ページビュー（PV）数は、ユーザーが閲覧したページをすべて集計したものである。平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までのページビュー数は 158,480 であった。また前年の平成 28 年は 182,685 であった。（表 2）

表 2 1 ヶ月ごとの PV 数

月	H29	H28
1 月	14,112	16,676
2 月	13,755	15,711
3 月	10,557	11,522
4 月	13,934	15,987
5 月	15,706	15,785
6 月	15,590	15,669
7 月	16,043	19,684
8 月	12,045	13,454
9 月	11,813	15,628
10 月	13,088	14,401
11 月	12,960	14,675
12 月	8,877	13,493
合計	158,480	182,685

③ カテゴリー別ページビュー

平成 29 年と平成 28 年のカテゴリー別のページビュー数は表 3 のとおりである。なお各カテゴリーは構成するページ数や公開時期が異なるため、単純

な比較はできない。

表 3 カテゴリー別ページビュー

カテゴリー	H29	H28
抗 HIV 治療ガイドライン	27,398	30,530
推奨処方エビデンスとなる臨床試験	2,099	2,530
福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策	385	-
HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究	448	-
エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究	222	-
介護保険施設の HIV ケアと学校基盤の HIV 予防における拡大戦略の研究	1,991	1,836
精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究	297	-
HIV 陽性の心理的支援の重要性に関する検討	129	
外来チーム医療マニュアル	17,909	21,227
HIV 感染症ってどんな病気？	51,076	54,534
おくすりガイド	42,691	52,424
早わかり！症状から探す重大な副作用	494	822
その他資料・冊子のダウンロード	1,026	1,351
リンク	235	207
研究者プロフィール	638	665
当研究班について	406	684

④ 抗 HIV 治療ガイドライン（研究分担者：鯉淵智彦）

平成 29 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの PDF 閲覧数は 16,786 であった。内訳を表 4 に示す。なお前年の平成 28 年は 17,332 であった。



図 2 2017 年 3 月版

表4 抗HIV治療ガイドラインPDF閲覧数内訳

イベント種別	PDF 閲覧数
平成29年3月発行	
(2017/3/30～12/31)	13,546
平成28年3月発行7月改定	
(2017/1/1～3/30)	2,191
初回治療推奨薬の改訂について (2017/1/1～3/30)	1,049
合計	16,786

⑤ 推奨処方エビデンスとなる臨床試験（研究分担者：鯉淵智彦）

推奨処方エビデンスとなる臨床試験

ツイート

初回治療として選択すべき抗HIV薬の組合せ

試験名をクリックすると、概要のページが表示されます。

推奨される組み合わせ

EVG/cobi/TDF/FTC	GS102, GS103, GS104, GS111 NEW
EVG/cobi/TAF/FTC	GS104, GS111 NEW
DTG/ABC/3TC	SPRING-2, SINGLE, FLAMINGO
DRV+rtv + [TDF/FTCまたはTAF/FTC]	ARTEMIS, FLAMINGO
DRV/c + [TDF/FTCまたはTAF/FTC]	NCT01440569(注:single arm) NEW
RAL + [TDF/FTCまたはTAF/FTC]	STARTMRK, SPRING-2
DTG + [TDF/FTCまたはTAF/FTC]	SPRING-2, FLAMINGO
RPV/TDF/FTC	ECHO, THRIVE

図3 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

平成29年の総ページビュー数は2,099であった(前年の平成28年は2,530)。各試験ごとのページビュー数は表5のとおりである。なお各試験は公開時期が異なるため単純な比較はできない。

表5 試験別PV数

試験名	H29	H28
HPTN052 早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価	162	189
SPRING-2 DTG+2NRTI vs RAL+2NRTI	129	155
FLAMINGO DTG+2NRTIs vs DRV rtv +2NRTIs	128	139

SMART ※1 CD4数に応じて治療開始と中断を繰り返す間欠治療群と、治療継続群とを比較	108	97
SINGLE DTG+ABC/3TC vs EFV/TDF/FTC	60	59
STARTMRK EFVを対照群とし、RALの非劣性のRCT	60	119
SINGLE DTG+ABC/3TC vs EFV/TDF/FTC	60	59
GS104, GS111 ※1 EVG/cobi/FTC/TAF vs EVG/cobi/FTC/TDF	41	—
ARTEMIS LPV/rを対照群とし、DRV/rの非劣性のRCT	35	85
EGS102 VG/cobi/TDF/FTC vs TDF/FTC/EFV	27	50
ECHO RPV+TDF/FTC vs EFV+TDF/FTC	25	42
THRIVE RPV+2NRTIs vs EFV+2NRTIs	23	67
NCT01440569 ※1 DRV/cの臨床試験(アメリカ、56施設)	20	—
GS103 EVG/cobi/TDF/FTC vs TDF/FTC+ATV/rv	17	30
GS934 TDF/FTC+EFV vs AZT/3TC+EFV	12	30
CNA30024 ABC/3TC+EFV vs AZT/3TC+EFV	8	14
ALERT TDF/FTC+FPV/r vs TDF/FTC+ATV/r	6	22
CASTLE TDF/FTC+ATV/r vs TDF/FTC+LPV/r	4	19

※1：平成29年（2017年）10月6日公開

⑥ 福祉施設におけるHIV陽性者の受け入れ課題と対策（研究分担者：山内哲也）

平成29年4月11日に新規公開したページで、研修会のお知らせと「HIV/AIDSの正しい知識（全章版／抜粋版）」PDFを掲載している（図4、5）。ページビュー数とPDFダウンロード数は表6のとおりである。

福祉施設におけるHIV陽性者の受け入れ課題と対策				
研究分担者：山内 啓佑				
平成29年度 HIV/エイズ啓発研修「福祉施設関係者向け」				
日時	名称・会場	参加費	お問い合わせ・申し込み先	
平成30年9月9日（金） 14:30～17:30	群馬県 HIV/エイズ啓発研修会 群馬県社会福祉センター 群馬県高崎市末広町115-1	無料	社会福祉法人日輪 ラスター 担当：高谷 電話 027-269-0688 FAX 027-269-0688	
平成30年2月22日（木） 13:00～17:00	東京都 社会福祉従事者の感染症対策研修会 文芸総合福祉センター 東京都文京区小日向2-16-15	無料	社会福祉法人日野野会 第2大森恵の園 担当：三浦 電話 04992 4-1865 FAX 04992 4-1870	
平成29年12月8日（水） 13:30～16:30 （終了しました）	高齢者介護施設のための感染症対策研修会～ノロウイルスからエイズまで～ 広島県健康福祉センター 広島県広島市南区宮前町1-6-29	無料	広島県健康福祉局健康対策課 感染症・疾病管理センター 電話 082-513-3068 FAX 082-254-7114	
平成29年9月8日（金） 14:00～17:00 （終了しました）	高齢者等介護施設のためのHIV/エイズ研修会 エルス大 第10階 第1023室 大塚市中央区北筑東3-14	無料	大阪府健康医療推進部保健企画課 感染症グループ 担当：堀山・浮村 電話 06-6941-0351 FAX 06-6941-9323	
平成29年7月6日（木） 13:30～15:30 （終了しました）	HIV/エイズの正しい知識について 社会福祉法人ほたけ会介護研修センター 群馬県前橋市肥後町3-226-2	無料	社会福祉法人日輪 ラスター 担当：高谷 電話 027-269-0688 FAX 027-269-0688	
平成29年6月27日（火） 18:00～19:30 （終了しました）	HIV/エイズの正しい知識について 社会福祉法人民衆会 一宮ハッピーセンター 第 新島県高岡市ノ宮1652-4	無料	社会福祉法人民衆会 担当：茂木 電話 027-467-7023	
平成29年5月26日（金） 18:30～20:00 （終了しました）	HIV/エイズの正しい知識について 株式会社メディアカルタサービス 福楽東事案部 フ アミニュー大森南 東京都大田区大森南3丁目10-4	無料	電話 080-3432-9764 担当 内村輝史	

図 4 福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策



図 5 HIV/AIDS の正しい知識

表 6

種別	H29	H28
ページビュー数	385	—
「HIV/AIDSの正しい知識（全章版）」 PDF ダウンロード数	169	160
「HIV/AIDSの正しい知識（抜粋版）」 PDF ダウンロード数	89	102

⑦ HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究（研究分担者：日ノ下文彦）

平成 29 年 4 月 11 日に新規公開したページで、研修会のお知らせと「HIV 感染透析患者受入れに関する疑問にお答えします！！」PDF を掲載している（図 6、7）。ページビュー数と PDF ダウンロード数は表 7 のとおりである。

HIV感染患者における透析医療の推進に関する研究		
研究分担者：日ノ下文彦		
当研究班共催講演会のお知らせ HIV感染透析患者受入れに関する疑問にお答えします！！ 講演情報		
日時	名称・会場	参加費
2017年11月7日（火） 19:30～21:00	講演会「HIV感染症と血液透析-決して高くない受け入れのハードル-」 静岡県医師会（静岡県静岡市葵区東草野町3-27）	無料
講演1「静岡県におけるHIV感染症の現状」 座長：宮下内科クリニック 院長 宮下 豊 演者：静岡県立静岡病院 血液内科 科長 岩井 一也		
講演2「HIV感染症と透析医療」 座長：静岡県立総合病院 副院長／腎臓内科 部長 森 典子 演者：国立国際医療研究センター 腎臓内科 診療科長 日ノ下文彦		
※詳細はこちらをご覧ください。		

図 6 HIV 感染患者における透析医療の推進に関する研究



図 7 HIV 感染透析患者受入れに関する疑問にお答えします

表 7

種別	H29
ページビュー数	448
「HIV 感染透析患者受入れに関する疑問にお答えします！！」PDF ダウンロード数	164

⑧ エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：下司有加）

平成 29 年 4 月 11 日に新規公開したページで、研修会のお知らせと「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」PDF を掲載している（図 8、9）。ページビュー数と PDF ダウンロード数は表 8 のとおりである。



図8 在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと

エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究			
研究分担者：下町 有知			
研修会のお知らせ 訪問看護師向け			
日時	名称・会場	参加費	お問い合わせ・申し込み先
平成29年10月28日 (土) 14:00～16:15 (13:30 受付開始)	HIV感染診療看護研修会～HIV陽性者の在宅支援を考える～ 池田記念シニア会館 大分市東町1-14	無料	国立府立連携大阪医療センター HIVコーディネーターブース 下町（しもじ） 電話 06-6942-1331 FAX 06-6946-3652
平成29年9月2日（土） 14:00～16:15	HIV感染診療看護研修会～HIV陽性者の在宅支援を考える～ 京都駅前会議室_K office 京都市下京区七条西洞院東入真之町686-3 コタニビル3階		
平成29年7月1日（土） 14:00～16:15	HIV感染診療看護研修会～HIV陽性者の在宅支援を考える～ 沢野苑駅前パルシェ会議室 第3会議室 静岡市東区基合和49番地		

図9 エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究

表8

種別	H29	H28
ページビュー数	222	—
「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」PDFダウンロード数	81	76

⑨ 介護保険施設の HIV ケアと学校基盤の HIV 予防における拡大戦略の研究（研究分担者：佐保美奈子）

平成 29 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの各ペー

ジビュー数は 1,991 であった。（前年の平成 28 年は 1,836）各ページのビュー数と PDF ダウンロード数は表 9 のとおりである。

同研究ではホームページからの問い合わせフォームを設置しており、平成 29 年中には 9 件の問い合わせがあった。うち教材ビデオのダウンロード希望が 6 件、DVD の送付依頼が 1 件、高等学校への出前講義見学が 2 件であった。

介護保険施設の HIV ケアと学校基盤の HIV 予防における拡大戦略の研究

研究分担者：大阪府立大学看護学研究所 佐保美奈子

研修・講演会のお知らせ

■ HIV サポートリーダー養成研修（今年度から2日間になりました）

日本エイズ学会認定HIV感染診療看護研修
・認定HIV感染看護師の取得研修単位（3単位）

第14回 平成29（2017）年6月9日（金）～6月10日（土）
大阪府看護協会 後援研修センター
詳細はこちら

第15回 平成29（2017）年10月27日（金）～10月28日（土）
大阪府看護協会 後援研修センター
詳細はこちら

・ HIV サポートリーダー養成研修のまとめと感想

研修風景はここに

終了した研修・講演会

- 第13回 2016年10月6日（木）～6日（土） 詳細はこちら
- 第12回 2016年6月9日（木）～11日（土） 詳細はこちら
- 第11回 2015年11月12日（木）～14日（土） 詳細はこちら
- 第10回 2015年6月25日（木）～27日（土） 詳細はこちら
- 第9回 2014年10月9日（木）～11日（土） 詳細はこちら
- 第8回 2014年6月26日（木）～28日（土） 詳細はこちら

大阪府内高等学校等への出前講義スケジュール

平成30年

- 1月25日大阪府立成美高等学校1年生
- 1月25日大阪府立堺東高等学校1年生
- 1月25日大阪府立今宮高等学校1年生、2年生

第5回HIVネットワーク会議開催/申し込みFAX用紙

平成27年7月29日（水）開催

図10 介護保険施設の HIV ケアと学校基盤の HIV 予防における拡大戦略の研究

表9

種別	H29	H28
研修・講演会のお知らせ	1,069	1,164
第14回 HIV サポートリーダー養成研修のご案内	80	—
第15回 HIV サポートリーダー養成研修のご案内	260	—
その他（過去の研修案内）	227	—
研修の申し込み	176	64
研修風景写真	95	88
お問い合わせ	84	101
HIV サポートリーダー養成研修 受講生募集チラシ PDF ダウンロード	61	—

⑩ 精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究（研究分担者：角谷慶子）

平成 29 年 4 月 11 日に新規公開したページで、研修会のお知らせと「精神医療従事者のための HIV/

AIDS ハンドブック」PDF を掲載している（図 11、12）。ページビュー数と PDF ダウンロード数は表 10 のとおりである。

精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究			
研究分担者：角谷 康子			
研究会のお知らせ 日時 平成29年12月16日(土) 13:30～16:30 名称・会場 精神医療従事者のためのHIV/AIDS研修会 京都ホテルズ 第2会議室 京都市南区東九条下殿田町70番地 参加費 無料 お問い合わせ・申し込み先 詳細はこちら			

図 11 精神科医とカウンセラーの連携体制の構築に関する研究



図 12 精神医療従事者のための HIV/AIDS ハンドブック

表 10

種別	H29
ページビュー数	397
「精神医療従事者のための HIV/AIDS ハンドブック」PDF ダウンロード数	69

⑪ HIV 陽性の心理的支援の重要性に関する検討（研究分担者：大山泰宏）

平成 29 年 6 月 30 日に新規公開したページで、HIV 陽性者の心理的支援の重要性に関する調査研究のための心理面接にご参加いただける方を募集している。

募集は別サイトで受け付けており、当サイトから

はリンクを張っている。（図 13）

ページを公開した平成 29 年 6 月 30 日～12 月 31 日までのページビューは「129」であった。



図 13 HIV 陽性の心理的支援の重要性に関する検討

⑫ HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

HIV 診療における外来チーム医療マニュアルは HTML 版と PDF 版を公開している（図 14）。平成 29 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日までの HTML 版のページビューは 17,909（前年の平成 28 年は 21,227）で、PDF 版の閲覧数は 358（前年の平成 28 年は 384）であった。HTML 版各ページのページビュー数（上位 10 ページ）は表 11 のとおり。

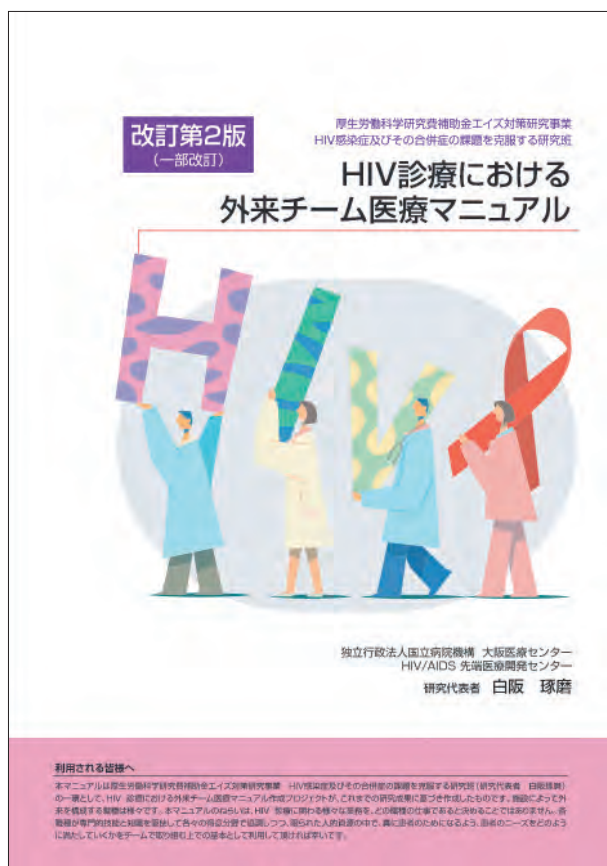


図 14 HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

表 11 ページ別 PV 数

ページ	H29	H28
資料 1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて	4,413	5,456
第 3 章 5) 抗 HIV 薬・抗 HIV 療法	2,335	2,623
資料 6) 自立支援医療	1,121	1,211
第 2 章 iv HIV 感染症と精神科診療	951	938
第 2 章 5)(5) ④ソーシャルワーカーの役割 / ⑤カウンセラーの役割	519	475
資料 5) 身体障害者手帳	488	587
資料 2) 服薬における患者と医療者のコミュニケーション事例	454	528
資料 3) エイズ派遣カウンセリング制度実施自治体一覧	423	384
第 3 章 4) パートナー・家族等への支援	398	230
第 1 章 4) チームとは	383	513

⑬ おくすりガイド

抗 HIV 薬の添付文書や Q&A、薬カード、患者向説明文書などを掲載している（図 15）。平成 29 年の総ページビュー数は 42,691 であった（前年の平成 28 年は 52,424）。平成 29 年と平成 28 年の各ページビュー数（上位 10 ページ）は表 12 のとおりである。なお各ページは公開時期が異なるため単純な比較はできない。

The screenshot displays a webpage titled '抗HIV薬全般に関するQ&A 第10版' (Q&A about all anti-HIV drugs, 10th edition). It lists various medications and their associated documents (添付文書, 薬カード, 患者向説明文書, 添付文書). The medications listed include:

- JTC: エビビル錠150, エビビル錠300
- ABC: ギアジェン錠 300mg
- AZT: レトロビルカプセル 100mg
- COM: コンビビル錠
- 64T: ゼリットカプセル 15/20
- d4i-EC: ブイデックスECカプセル125/200
- DVI: デンコビ配合錠17A7
- EZC: エアジコム錠 (ABC+3TC)
- FTC: エムトリバカプセル 200mg
- TDF: ビリアード錠300mg
- TVD: ツルバダ錠
- RPV: エグザラント錠25mg
- EPV: ストックリン錠 600mg, 200mg

図 15 おくすりガイド

表 12 おくすりガイドの PV 数

ページ	H29	H28
TVD の添付文書	7,233	7,529
抗 HIV 薬全般に関する Q&A	4,394	5,948
RAL の添付文書	3,764	4,152
ATV の添付文書	2,028	2,492
TDF の添付文書	1,773	1,995
RPV の添付文書	1,672	1,620
EZC の添付文書	1,653	2,158
EFV の添付文書	1,633	1,539
カレトラの添付文書	1,535	1,367
AZT の添付文書	1,177	1,594

⑭ HIV 感染症ってどんな病気？

「HIV 感染症ってどんな病気？」は HIV 感染症や免疫に余りなじみのない方の理解を助けるために作成し、2006 年末に公開した（図 16）。平成 29 年の総ページビュー数は 51,076 であった（前年の平成 28 年は 54,534）。平成 29 年と平成 28 年の各ページビュー数（上位 10 ページ）は表 13 のとおりである。



図 16 HIV 感染症ってどんな病気？

表 13 「HIV 感染症ってどんな病気」の PV 数

ページ	H29	H28
CD4 陽性リンパ球細胞の数	8,187	6,210
プロテアーゼ阻害薬	7,368	6,181
インテグラーゼ阻害薬	4,291	4,764
逆転写酵素阻害薬	2,969	3,363
CCR5 阻害薬	2,780	3,616
HIV の増え方	2,649	2,561
抗 HIV 薬について	2,505	3,796
HIV に感染すると…	1,899	2,324
HIV について	1,779	2,348
治療法について	1,306	2,168

⑮ 早わかり！症状から探す重大な副作用

このシステムは、まず症状を選び、次に服用している抗 HIV 薬を選択することで、重大な副作用に該当するかどうかを判定するシステムで、平成 21 年（2009 年）2 月より公開している（図 17）。システムにはオンラインで利用できるものと、オフライン環境でも使えるアプリケーションがある。平成 29 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日まで、オンラインでシステムを利用したのは 38（前年の平成 28 年は 100）、オフラインでも動作するアプリケーションのダウンロード数は 4（前年の平成 28 年は 9）であった。



図 17 早わかり！症状から探す重大な副作用

(3) ページアンケートの集計

各ページからのアンケートの回答は、平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までに計 150 件あった。内訳は表 14 のとおりである。

表 14 ページアンケートの集計結果

評価	H29	H28
役に立った	136	125
一部、役に立った	10	12
役に立たなかった	4	8
未選択	-	2
回答数	150	147

送信ページごとの評価を表 15 にまとめた。

表 15 送信ページ別の評価

送信ページ	役に立った	一部、役に立った	役に立たなかった
抗 HIV 治療ガイドライン	55	2	0
HIV 感染症ってどんな病気？	57	5	3
おくすりガイド	8	2	1
推奨処方エビデンスとなる臨床試験	3	0	0
外来チーム医療マニュアル	5	1	0
その他資料・冊子のダウンロード	1	0	0
福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策	2	0	0
エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究	1	0	0
地域 HIV 看護における拡大戦略の研究	1	0	0
HIV 陽性者の歯科診療の課題と対策	1	0	0
トップページ	2	0	0
合計	136	10	4

このページアンケートでは以下の意見が寄せられた。

【送信日時】 2017 年 1 月 20 日 13:53:41

【評価】 役に立った

【メッセージ】 TAF 関連のエビデンスも掲載してください。

【送信ページ】 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

【送信日時】 2017 年 1 月 25 日 10:07:41

【評価】 役に立った

【メッセージ】 すごく役に立ちました。ありがとうございます

【送信ページ】 抗 HIV 治療ガイドライン

【送信日時】 2017 年 2 月 25 日 22:19:42

【評価】 一部、役に立った

【メッセージ】 それ以外に免疫システムが働かない理由は何ですか？

【送信ページ】 「HIV 感染症ってどんな病気？」の「免疫システムを破壊する HIV」

【送信日時】 2017 年 4 月 12 日 8:51:24

【評価】 役に立った

【メッセージ】 Europe US の知見に基づいており、

記述がわかりやすい。

【送信ページ】抗 HIV 治療ガイドライン

【送信日時】2017 年 4 月 25 日 16:04:02

【評価】役に立った

【メッセージ】とても参考になりました！

【送信ページ】抗 HIV 治療ガイドライン

【送信日時】2017 年 5 月 14 日 18:15:31

【評価】役に立った

【メッセージ】絵がわかりやすい

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「HIV の増え方」

【送信日時】2017 年 5 月 14 日 21:02:55

【評価】役に立った

【メッセージ】分かりやすいです。

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「インテグラーゼ阻害薬」

【送信日時】2017 年 5 月 14 日 21:07:00

【評価】役に立った

【メッセージ】HIV-1 の Nef がバイスタンダー B セルの IgD に感染することから IgD の研究ももっと進むと良いと思います 大学院生

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「治療法について」

【送信日時】2017 年 5 月 27 日 17:00:33 GMT

【評価】役に立った

【メッセージ】素晴らしく分かりやすい説明でした。仕組みをすぐに理解することができました。ありがとうございます。

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「HIV の増え方」

【送信日時】2017 年 6 月 29 日 9:00:15

【評価】役に立った

【メッセージ】HIV/AIDS 先端医療開発センター御担当者様

平素よりお世話になっております。

職員及び学生の研修のため

抗 HIV 治療ガイドライン（2017 年 3 月発行）の冊子を希望いたします。

希望部数 10 部（可能でしたらポケット版）

どのように手続きすればよろしいでしょうか

御返信お待ちしております。

何卒宜しくお願い申し上げます。

防衛医科大学校病院

薬剤部

【送信ページ】抗 HIV 治療ガイドライン

【送信日時】2017 年 7 月 9 日 15:54:03

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】俺はエイズって言われているよ！でも薬は飲み続けているよ！

【送信ページ】「おくすりガイド」抗 HIV 薬すべての Q&A

【送信日時】2017/07/26 06:28:28

【評価】役に立った

【メッセージ】治療ガイドラインという題名なので治療だけと心配になったが、診療上必要なことが含まれ安心した。

【送信ページ】抗 HIV 治療ガイドライン

【送信日時】2017/09/19 10:48:12

【評価】役に立った

【メッセージ】わかりやすいです。

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「CD4 陽性リンパ球細胞の数」

【送信日時】2017/09/30 15:19:02

【評価】役に立った

【メッセージ】サンキュー。

【送信ページ】「HIV 感染症ってどんな病気？」の「CCR5 阻害薬」

(4) Web サイト全体に関するアンケートの集計
平成 29 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日までのアンケート送信数は 13 件であった。その内訳は表 16 のとおりである。

表 16 サイト全体に関するアンケート

設問		計
年齢	10 代	0
	20 代	1
	30 代	5
	40 代	3
	50 代	3
	60 代以上	1
性別	男性	8
	女性	5
あなたの立場	患者	1
	患者の家族・友人等	3
	医療関係者	9
	その他	0

このホームページをどこでお知りになりましたか？	検索エンジン	8
	他のホームページからのリンク	1
	友人・知人に教えてもらった	0
	医療関係者に勧められた	0
	その他	4
役に立った内容	薬カード	3
	Q & A	5
	患者向説明文書（翻訳）	2
	添付文書情報	2

自由記述欄（欲しい情報、ご意見、ご要望）に入力のあった投稿を以下に紹介する。

[このホームページをどこでお知りになりましたか？]

メーリングリストの方から紹介（IDATEN）

（立場：医療関係者）

マラビロクについて調べていたら

（立場：医療関係者）

CD4 値を上げる方法はないか検索していたら出てきた

（立場：患者の家族・友人等）

[欲しい情報]

患者だけでなく、その家族に、ウィルス感染を防ぐ意味で予防的服用が実現できないか、また、非感染者がその薬を飲むとどうなるのか知りたい。

（立場：患者の家族・友人等）

[4. ご意見、ご要望]

抗 HIV 薬の添付文書情報を参照するために検索したのに、更新情報が 2013 年現在では意味がない

（立場：医療関係者）

考 察

平成 29 年のアクセス数は平成 28 年と比較すると、セッション、ページビュー共に減少した（セッション：108,836 → 99,570）（ページビュー：182,685 → 158,480）。これは比較的アクセス数が多い「おくすりガイド」で新薬の紹介ができていなかったり、添付文書が数年前のままで改訂が反映されていなかったことが一因と考えられる。しかし一方で、当サイトの 76.5%が新規訪問者であり、80.9%が検索による来訪、Google 等での検索結果では上位にランキングされていることから、Web の中での当サイトの価値は依然高いと言える。したがって減少の原因は、HIV/AIDS に関するホームページが年々増加し、閲覧されるホームページが分散されてきたことも一

因と推測される。

サイト全体としてはアクセス数は減少したが、抗 HIV ガイドラインは増加傾向を保っている。平成 28 年 1 月～12 月の PDF 閲覧数は 17,332 だが、説明書を除くガイドラインのみ（Ver.1, Ver.2）のみでは 14,182 で、平成 29 年 1 月～12 月は 16,786 と増加している。この増加傾向は平成 23 年（2011 年）年から続いている。検索でもキーワード「haart」で抗 HIV ガイドラインが 4 番目、「hiv 治療」で 7 番目と、当サイトのトップページよりも上位に表示されていることから、注目度が高いことが伺える。

結 論

Web の中での当サイトの価値は依然高いと言える。またホームページに掲載している内容は、HIV/AIDS に関する基本的な知識から、医療従事者を対象とした専門的な情報まで多岐にわたり、他の研究班には無い有効な情報発信としての機能を果たしていると考ええる。

健康危険情報

該当なし

研究発表

なし

知的所有権の出願・取得状況（予定を含む）

該当なし